

・会社概要

株式会社新藤は、「天衣無縫」という「自然を生かした美しい」ものづくりをテーマに、オーガニックコットンを使用したタオルや肌着といった商品を販売している会社である。「オーガニックテキスタイル認証」という、原料である有機栽培の綿花が最終製品になるまでの過程が証明されている国際基準も取得しており、環境に配慮した製品を作ることにも力を入れている。

(1) オーガニック栽培

綿花は植物の中で、特に農薬が使われる作物である。病気を防ぐため、余計な雑草に養分を取られないためなど理由はいくつかあるが、農薬（枯れ葉剤など）を使うことは環境に極めて悪影響だ。また綿花生産は元々奴隷労働だった名残から、現在も貧しい人々が行っていることが多く、児童労働も存在する。このような状況を改善する方法として、コットンのオーガニック栽培はとても良い。化学肥料ではなく有機肥料を使用し、雑草も初期に手作業で摘み取るなど、自然の生態系に負荷を与えずに育てられたコットンをオーガニックコットンと言うが、この栽培方法は生産者の健康にも配慮されたものである。

(2) CSR 活動

新藤はオーガニック原料を 95%以上使用した製品を製造・販売することで、地球環境に配慮したものづくりを広めていくと共に、「オーガニック」を通じた人々の社会環境構築にも貢献したいという経営理念を掲げている。取材の際、藤澤社長は「この会社は、企業活動自体が CSR だ」と仰っていたが、これは CSR に取り組む企業の最も理想的な形だと、私は感じた。

また被災地支援として「東北コットンプロジェクト」にも参加している。津波で稲作などが困難になった農地で、塩害に強い綿花の栽培を行うというプロジェクトで、様々な試行錯誤によって年々生産量を増やしている。

(3) 今後の展望

まず顧客を増やし品質向上・販売拡大をすることで、「潰れない会社」という土台を築きたいと言う。その上で、「オーガニック」というキーワードを「衣」だけでなく「食」にも広げた活動を目指している。例えば有機農業のネットワークを使ったオーガニックレストランの経営など、衣と食を一体化した有機農業社会にも貢献していきたい。現在起こっている様々な社会問題を背景に、国民の間でも環境への意識が高まり、オーガニック市場は成長を見せている。市場の中での経済的自立を目指しながら、未来に向けた持続可能な社会づくりを行っていききたい、という展望である。